

3. 名古屋市公会堂開館

1930年(昭和5年)9月末、着工から3年半、延べ約17万人の職工を動員し、ついに名古屋市公会堂は完成しました。資金面の問題から途中で工事が中断したこともあったそうですが、その威容に市民は驚嘆し、東洋一の文化と社交の殿堂の誕生に喜びが溢れました。



開館当時の名古屋市公会堂全景



当時販売されていた絵葉書には、どの組み合わせにも必ず名古屋城、熱田神宮そして公会堂の3枚が入っていたそうです。新しい名古屋名のひとつとして、いかに市民が公会堂を誇りに思っていたかがわかりますね。

10月10日、開館の祝賀式が盛大に開催されました。この祝賀式は中川運河・下水処理場・水道拡張・公会堂の四大事業竣工、更に名古屋市人口百万人突破を祝うものでした。夜は4階の大食堂で華やかに晩さん会が催され、翌11日も祝賀式は続きました。



ところで人口 100 万突破は直前の 10 月 1 日の国勢調査で確実視されていたのですが、10 月 21 日に発表された集計結果は何と 90 万 7 千余人。大幅に下回ったため大騒ぎとなったそうです。ちなみに人口 200 万人記念事業で昭和 47 年に建設されたのが市民会館です。

この開館祝賀式は、当時の新聞によると「式後を飾る余興の数々」として観世流能楽<翁>、西川流<勢獅子>と新作<幸市園之賑>、そしてジャズとダンスで盛り上がったとあります。外の鶴舞公園では園遊会も開催され、大変な人出だったようです。



ちなみにジャズとダンスで盛り上げたのは広島料亭羽田別荘専属の歌劇団。大正時代に宝塚に続いて全国各地に作られた少女歌劇団のひとつで、「ハダカゲキ」と呼ばれ人気を博したそうです。今で言う、ご当地アイドルグループみたいな存在でしょうか。

祝賀式の後、市民見学会が 2 日間行われました。

その後 10 月に開催された主な行事を順に追うと、市政報告会／エフレム・ジンバリスト ヴァイオリン独奏会／ビクター楽人大演奏会(宮城道雄他)／立憲愛国党発会式／尾上菊五郎大舞踊大会／全市学童音楽会／教育勅語発 40 周年市民記念式、翌 11 月は<君が代>制定 50 年記念音楽会／名古屋長唄祭／新築地劇団公演／大能楽会／山田耕作楽壇生活 25 年記念演奏会…などとなっています。洋楽、邦楽、演劇、舞踊、式典など実に多彩なことがわかります。



開館直後から多くの催しが開催され、新聞の見出しには「半年の収入予算を半月で」稼いだとあります。記事をよく読むと、当時は夜11時まで貸していたため、職員は連日「早朝から夜は12時過ぎまできりきり舞いの忙殺で」と苦労した様子が書かれています。

当時は今では想像できない職種も常駐しており、電話交換手、エレベーターガール、メッセンジャーボーイ(配達・集金などのお使い)、下足人(来館者の履物を預る)などと記録にあります。地下には名古屋ホテル直営の食堂、プレイガイドや売店がありました。

公会堂内諸種人夫供給
臨時出張及下足人夫供給
装飾工事及器具賃貸
▽低廉御用立可仕候△

名古屋公会堂
名古屋徳樂堂 御指定

水野組

水野金次郎
電話東五七〇一番
名古屋電話東五〇八〇番

下足人の業者の広告

日六十二月一十年五昭和

（明電報社刊）

ホクくの うれしい 新公会堂

半年の収入予算を半月でとる

本公会堂は、開館後、大に好評を得て、毎日の利用者が多く、収入も、半年の収入予算を半月でとる、という、驚異的な成績を挙げ、市民の心を大いに打動した。

この成績は、本公会堂の設備が、大に整ったこと、また、職員が、大に努力したことに、由るものがある。

本公会堂は、開館後、大に好評を得て、毎日の利用者が多く、収入も、半年の収入予算を半月でとる、という、驚異的な成績を挙げ、市民の心を大いに打動した。



本公会堂は、開館後、大に好評を得て、毎日の利用者が多く、収入も、半年の収入予算を半月でとる、という、驚異的な成績を挙げ、市民の心を大いに打動した。

この成績は、本公会堂の設備が、大に整ったこと、また、職員が、大に努力したことに、由るものがある。

本公会堂は、開館後、大に好評を得て、毎日の利用者が多く、収入も、半年の収入予算を半月でとる、という、驚異的な成績を挙げ、市民の心を大いに打動した。